

仕事もしたい、結婚もしたい、

子育てもしたい、
自分の時間も楽しみたい・・・



こう願うのは自分勝手なことなのでしょうか。
またそれは女性だけの願いなのでしょうか。



男女にかかわらず、多くの人は、仕事と、子育てや介護、地域活動、自己啓発などを、上手にバランスをとりながらこなし、自分らしく生きたい、生き方の多様性(ダイバーシティ)を認めてもらいたい、と願っているのではないのでしょうか。互いに尊敬しあい、それぞれが納得できる生き方、人が人として輝く社会を実現できないものが、一緒に考えてみませんか・・・。

開催日：2010年2月20日(土) 13:30～16:30 (受付13時～)

会場：札幌グランドホテル 本館2F 金枝 札幌市中央区北1条西4丁目

定員：200名(申込先着順・参加費無料)

第1部 13:30～落語と講談で聴こう「ワーク・ライフ・バランス」

講談 渥美 右桜左桜「万葉のナイス・パパ 山上憶良」

落語 桂 幸丸「落語家 桂幸丸の幸丸流ワーク・ライフ
・バランスと 古典落語『桃太郎』」



桂 幸丸 師匠

第2部 14:45～シンポジウム『“私らしく生きる”ために』

パネリスト 名取 はにわ氏(元内閣府男女共同参画局長)

渥美 雅子氏(女性と仕事の未来館館長・弁護士)

渥美 由喜氏(少子化問題研究者 内閣府少子化社会対策推進会議議員)

桑原 聡氏(株式会社エコクス 常務取締役)

コーディネーター 松原敏美(弁護士・日本BPW連合会会長)

お申し込み・お問い合わせ

「BPWシンポジウム(札幌)参加希望」と明記の上、住所・氏名・連絡先(TEL or FAX or E-mail)をご記入いただき、下記までFAX・E-mailでお申し込みください。(当日会場でも受け付けます)

託児ご希望の方は事前にご予約願います。

FAX:03-5367-5486 E-mail: sympo@bpw-japan.jp

TEL 03-3352-8400 受付事務局:アイテックス(竹内、森村)

取得しました個人情報、このシンポジウムの受付のみに使用します。



シンポジウム『“私らしく生きる”ために』

14:45～16:30 パネルディスカッション

第2部では、“私らしく生きる”ために、と題して、4名のパネリストから、それぞれのワーク・ライフ・バランス(WLB)について、また WLB のメリット、そして WLB バランス実現のための提案など、会場の質疑を交えながらディスカッションを展開！。一人ひとりが、私らしく、自分らしく生きるために、ワーク・ライフ・バランスの実現について一緒に考えませんか。



コーディネーター **松原 敏美**(弁護士・特定非営利活動法人日本 BPW 連合会 理事長)
(略歴)

□WLBについて:人が仕事をする。性別役割分担が無くても、みんながみんな仕事ばかりしては、仕事は増えていかない。『衣食住にこだわる、遊ぶ、学ぶ、育てる、癒される、介護する、寝る』が、ほかの人の仕事の素。だから、仕事しながらライフも充実。それで活力のある持続可能な安定した社会が作れる。誰かが、ピーと笛を吹いて、イエローカードを出ながら、「ワーク・ライフ・バランス！」と呼んで、無理にそうするのではなく、世の中のあたりまえ、として広がるように、みんなで、じっくり考えてみましょう。

パネリストご紹介

桑原 聡 氏 (株式会社エコクス 常務取締役)
(略歴)

□WLBについて:

お写真

渥美 雅子氏(女性と仕事の未来館館長・弁護士)



静岡県浜松市出身。66年より弁護士開業。家族、相続、D.V.等の問題を得意とし、現在、女性と仕事の未来館館長。渥美右桜左桜の名前で、講談塾を開設。□WLBについて:ワーク・ライフ・バランスとは単に「仕事と私生活をバランスよくこなしましょう」とか「仕事と子育て・介護を両立させていきましょう」というものではありません。むしろ、目の前に並んでいる、ねばならないものから脱出し、自分が真にやりたいと願っていることをやる、その為にはどうすればいいか、つまり have to から want へ座標軸を切り替えていく、その為の道筋を一緒に考えてみようではありませんか。

名取 はにわ氏(内閣府情報公開・個人情報保護審査会委員、元内閣府男女共同参画局長)

1973年法務省入省、95年4月 総理府大臣官房男女共同参画室長・内閣審議官、03年8月 内閣府男女共同参画局長を経て、06年7月退職。□WLBについて:06年7月まではワーク・ワーク人生でした。最近ようやく、季節の移り変わりが感じることができるようになりました。仕事は、いつか離れることになり、生活だけの人生が始まります。人生の移り変わりのためにもワーク・ライフ・バランスは大切です。人間は生き物ですから....



渥美 由喜氏(東レ経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長)



少子化問題研究者 内閣府少子化社会対策推進会議議員)
92年大学卒業後、(株)富士総合研究所に入社。(株)富士通総研を経て09年より、現(株)東レ経営研究所
□WLBについて国内外の多くの企業の調査・研究、コンサルティング等の経験から、「ワークライフバランス・ダイバーシティは企業にとって単なるコストではない。むしろ中長期的に返ってくるハイリターン投資であり、グローバル経営上の戦略として取組むか否かで大きく企業の明暗を分ける」と確信。プライベートでは一昨年、育児休業を取得し、3歳の長男の育児に奮闘中です。仕事、育児のほか、15年前から地元の公園で継続してきた「こども会」のボランティア活動をライフワークにしております。座右の銘は、「市民の三面性＝家庭人、地域人、職業人」。


Cabinet Office, Government of Japan
男女共同参画局
<http://www.gender.go.jp>


日本BPW連合会
<http://www.bpw-japan.com>

BPW とは？ Business and Professional Women の略で **BPW International** は、国連の経済社会理事会の諮問機関として一般協議資格をもつ NGO で、世界の 100 以上が加盟しています。

日本 BPW 連合会は、職業を持つ女性たちの地位向上をめざして、女性に対する差別をなくすこと、そして世界の開発と平和にむけて国内及び国外の働く女性と共同して活動することを目的とする NGO です。1958年発足後 50 年を経て、2009 年 NPO 法人化しました。BPW!の方針に添った統一テーマを基本に、地域ごとの単位クラブで独自の活動を行っています。また、毎年全国大会を開催し、若い世代を対象とする「ヤングスピーチコンテスト」や、働く女性に関するワークショップなどを行っています。また、男女共同参画推進連携会議、国連 NGO 国内婦人委員会、国際婦人年連絡会の構成団体でもあります。